

事業番号	07 04 02	事業改善シート（令和5年度実施事業分）				☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	地域産業の活性化事業				部局	産業労働部	課・室	産業技術課	
					実施期間	S60 ～	E-mail	sangi @ pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

- ・地域産業の持続的な発展のため、新商品開発や効果的なPR等により、付加価値を向上、ブランド力を強化していく必要がある。
- ・伝統的工芸品産業は、需要減少、後継者不足等により、地域産業の中でも特に厳しい状況。伝統的工芸品産業を未来につなぐため、総合的に産業を支援していく必要がある。

2 事業目的

- ・企業等が行う地域資源を活用した製品開発を支援することにより高付加価値化を図る。
- ・後継者の育成・確保、県内外の販路開拓など伝統的工芸品産業の取組を総合的に支援し、当該産業の活性化を図る。

3 事業目的を達成するための取組

①地域資源活用型産業の高付加価値化	
・地域資源製品開発支援センター事業（デザサパながの）に専門家を招聘し、県内中小企業が取り組む地域資源を活用した新商品開発を支援	
・県内伝統的工芸品産業の持つ価値を再定義、その浸透を支援（リブランディング）	
・伝統的工芸品産業に対し、県内企業等が自発的に取り組む、魅力発信、新規ビジネス創出等の事業を支援	
②伝統的工芸品産業の後継者確保・販路開拓	
・講習会や助成金による後継者育成、インターンシップ開催等による後継者確保を支援	
・展示販売会等イベントの企画・開催や、県内産地の展示販売会等への出展支援による販路開拓を支援	

4 成果指標

（推移の凡例 ♯：改善 ♭：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R3年度	R4年度		R5年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移			
①	インターンシップ参加者数	者	-	12	—	13	♯	12	達成	伝統的工芸品の後継者発掘に係る県の支援の進捗を測るための指標として設定。県の支援により、年に2産地でインターンシップを開催、1産地あたり6人の参加を目標値とした。
②-1	展示販売会出展産地数	件	40	47	♯	36	♭	30	達成	伝統的工芸品の販路開拓に係る県の支援の進捗を測るための指標として設定。県の支援により、県下28産地のうち、1産地あたり1回以上参加を目標値とした。
②-2	技術伝承講習会参加者数	者	91	81	♭	68	♭	60	達成	伝統的工芸品産業の人材育成に係る県の支援の進捗を測るための指標として設定。県が実施する講習会に関して、県下28産地のうち、1産地あたり2人以上の参加を目標値とした。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （★印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値
2-3②	サービス産業等の活力向上	デザサパながのによる支援件数（2023～2027年度 累計）	件		—		—	2023 (R5)	121	2027 (R9)	450
2-3②	サービス産業等の活力向上	上記支援による商品化件数（2023～2027年度 累計）	件		—		—	2023 (R5)	9	2027 (R9)	100

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 （予算現額）	うち一般財源		
R5年度	0	36,917	0	36,917	26,387	31,254	4.5
R4年度	0	33,800	0	33,800	23,154	32,333	4.5
R3年度	0	24,500	37,659	62,159	22,266	47,808	4.5

事業番号	07 04 02	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	地域産業の活性化事業	部局	産業労働部	課・室	産業技術課	

7 主な取組実績と成果

① 地域資源活用型産業の高付加価値化

・総合プロデューサーを中心として外部専門家等を交えた支援体制を構築し、構想企画からデザイン、販売促進、情報発信まで地域資源を生かした商品開発を一貫支援した。

（支援による商品化件数：9件）

・具体的な商品化支援事例

新製品「豆腐こんにやく/豆腐こんにやくチップス」の商品開発支援【(株)ポタジェやすおか】

泰阜村産のこんにやくに南信州特産の凍り豆腐を練りこんだ新食感のこんにやくに加え、常温

保存が可能な豆腐こんにやくチップスを開発した。スイーツとしてのこんにやくの新しい食べ方を

提案するため、小型のパッケージも採用した。デザサポでは商品名等の考案、パッケージ、販促物の作成などを支援した。



・県内初の高校生アイドル及び県内メディアと連携し、伝統的工芸品の魅力をPR、若年層を中心としたファンの拡大を支援した。

・県内企業が伝統的工芸品を活用して行う取組に対し補助するなど、伝統的工芸品の活用促進を支援した。

Ⅰ型（伝統的工芸品の魅力発信や知名度向上に資する取組み）：8件

Ⅱ型（伝統的工芸品の技術を用いた新商品開発や新たなビジネス創出）：3件

② 伝統的工芸品産業の後継者確保・販路開拓

・需要減少や後継者不足の課題を抱える伝統的工芸品産業について、販路開拓や魅力発信を支援したほか、後継者確保を支援した。

【主な取り組み】

①井上百貨店（松本市）で国・県指定産地の工芸品や職人が集まる「長野県伝統工芸品展（18産地）」を開催

②新たな消費者への魅力発信のため、エムウェーブ（長野市）で開催された信州ハンドクラフトフェスタへの出展を支援（19産地）

③飯山仏壇、軽井沢彫の2産地で後継者発掘のためのインターンシップを開催

④産地の熟練職人を講師とした技術伝承講習会を6産地で開催

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	インターンシップ参加者数	R4年度推移	—	R5年度推移	↗	達成状況	達成
委託事業者との調整により、リアルに加えてオンラインでの開催を行う等、参加者の確保に努め、目標を達成することが出来た。							
指標②-1	展示販売会出展産地数	R4年度推移	↗	R5年度推移	↘	達成状況	達成
例年実施している伝統的工芸品展への開催に加え、新たな取組みとして信州ハンドクラフトフェスタへの出展を行う等、産地の出展数を増やし、目標値を達成することができた。							
指標②-2	技術伝承講習会参加者数	R4年度推移	↘	R5年度推移	↘	達成状況	達成
予定していた講習会を全て開催し、目標値を達成することができた。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

・商品開発等が一過性の取り組みとして終わらないよう工夫し取り組んでいく必要がある。

・伝統的工芸品産業は、依然として需要減少、後継者不足及び認知度不足の課題がある。

・伝統的工芸品産業の振興においては、認知度向上のための「ひろげる取組」、後継者の確保・育成による「つなぐ取組」、消費行動を促す「のぼす取組」の3本柱をベースとして総合的に支援を展開していくことが求められている。

(2) 事業改善の方策

・昨年度末に策定した「長野県伝統的工芸品産業振興方針」に基づき、「ファンの拡大（ひろげる取組）」「後継者の確保・育成（つなぐ取組）」「売上の拡大（のぼす取組）」の3本柱により、伝統的工芸品産業の抱える課題に対し、総合的に支援施策に取り組むこととする。

・新たな視点として、近年人気があり伝統的工芸品産業と同じ手仕事であるクラフト産業との連携促進を支援し、ファン拡大に取り組むとともに、消費者や後継者候補のさらなる開拓を行う。

事業番号	07 04 02	細事業一覧（令和5年度実施事業分）			☐ 当初要求 ☐ 当初予算案 ☐ 補正予算案 ☒ 点検		
事業名	地域産業の活性化事業			部局	産業労働部	課・室	産業技術課

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
1	地域資源製品開発支援センター事業費		12,448 千円	13,119 千円	10,751 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	企画から商品化までの総合プロデュース	直接	総合プロデューサーを配置し、地域資源活用に取り組む企業に対し、企画から商品化までを支援 総合プロデューサー1名配置、支援件数121件		

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
2	伝統的工芸品産業後継者育成・販路開拓支援事業		8,400 千円	8,467 千円	8,047 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	技術伝承講習会	委託	伝統工芸士、卓越技能者などの熟練技能者等を講師に伝統技術・技能の継承や多様な担い手確保を図る技術伝承講習会を開催 （委託先：長野県中小企業団体中央会）		
			講習会開催回数41回		
2	新規就業者の定着促進支援	補助金	伝統的工芸品の製造に携わる新規就業者を対象として、その育成費用を助成		
			補助事業者数：3事業者		
3	展示商談会の開催・出展	委託	第39回長野県伝統工芸品展を井上百貨店（松本市）で開催 （委託先：長野県中小企業団体中央会）		
			展示会開催数：1回		

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
3	伝統的工芸品支援事業費		467 千円	484 千円	244 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	伝統的工芸品月間事業負担金	負担金	伝統的工芸品月間（11月）を中心に伝産関係機関、国、県が一体となり、作り手と使い手が直接対話、交流できる場を設けて、伝統的工芸品の普及、PRを図った 【全国大会：岡山県（負担先：伝統的工芸品産業振興協会）】		
			負担金により開催されるイベント：1か所		

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
4	伝統的工芸品Reブランディング支援事業		- 千円	10,263 千円	9,823 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	リブランディング支援	委託	県内初の高校生アイドル及び県内メディアと連携し、伝統的工芸品の魅力をPR、若年層を中心としたファンの拡大を支援		
			メディア等での魅力発信回数：6回		
2	インターンシップの開催	委託	伝統的工芸品産業事業者工房でインターンシップを開催、後継者発掘を支援		
			インターンシップ実施産地数：2産地		

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
5	伝統的工芸品産業地域内循環支援事業	- 千円	- 千円	2,200 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	県内企業等の伝統的工芸品を活用した取組みを支援	補助金	県内企業等が取組む、伝統的工芸品を活用した魅力発信、新規ビジネス創出等の事業に補助金を支出	
			補助件数：11件	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
6	長野県伝統的工芸品産業振興審議会運営事業	- 千円	- 千円	189 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	審議会の運営	直接	伝統的工芸品産業振興条例の規定に基づき、伝統的工芸品産業の振興に関する重要事項について調査審議する審議会を運営	
			審議会開催回数：1回	